



富士見防災リーダー養成講座
修了者の皆さんと星野市長



渡戸3丁目町会防災会の皆さん

INTERVIEW



水谷第2町会防災会副会長
富士見防災リーダー養成講座修了者
箕輪 菊雄さん

「大」 地震や広域洪水のような大規模災害が発生したときは、建物の倒壊や火災、道路などの損傷が同時多発するほか、電話や電気、ガス、水道などが使用できなくなり、消防機関などの活動が著しく制限されるなど、対応に時間がかかることがあります。災害発生後しばらくは、そうした状況が起こり得ることを住民一人ひとりが意識して行動することが必要です。初期消火や災害情報の収集伝達、避難誘導、被災者の救出救護など地域単位での自主的な活動が求められます。特に、高齢者などの避難行動要支援者へのきめ細かい支援が被害の軽減のために重要であることが、多くの災害現場の経験から分かってきました。これらの活動の一翼を担うのが、地域をよく知る住民で組織された「自主防災組織」です。市内でも全55町会中43町会で自主防災組織が組織され、「自らの命と地域は自分たちで守る」と地域の防災力向上のため日々研鑽に努めています。

自らの命と地域は自分たちで守る

チカラを合わせて守る大切な「ひと」と「まち」

図 危機管理課 ☎049-256-7962

【PART1】地域を守る自主防災組織

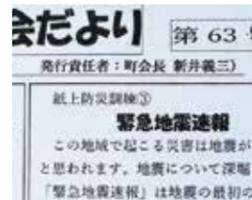


自主防災組織の結成と活動を支援

「自」 主防災組織は、災害時に防災活動や地域内の被害情報収集、避難行動要支援者の避難の支援、避難所の運営などを行います。また、平時でも、防災知識の普及啓発、防災資機材や備蓄品の整備と管理、地域の危険箇所・避難場所・避難経路の把握、防災訓練の実施などを行っています。地域の防災力をより一層向上させるためには、自主防災組織の一員として活動にあたるだけでなく、地域住民として自主防災組織が実施する防災訓練などに積極的に参加することが大切です。市では、自主防災組織の活動を充実させるため、活動費用の補助や防災資機材・防災倉庫の設置に関する費用の補助などのほか、未結成の地域には結成に向けた相談を受けるとともに、結成に要する費用の補助を行っています。大切なひととまちを災害から守るため、市民一人ひとりがチカラを合わせて災害に強い地域をつくりましょう。

「自助」「共助」「公助」という言葉の中で、自主防災組織の活動は「共助」にあたりますが、最近ではさらに一歩進んだ、隣り合う家同士が助け合う「近助」という言葉も生まれています。町会では班単位の助け合いが近助に該当すると思います。災害発生時の防災活動はもちろんですが、このような小さい単位での住民同士のつながりを深め、助け合いの意識を育むことが現在の自主防災組織に求められていると考えています。

水谷第2町会と一体となった活動している私たちの防災会では、地域の一体感を高めるとともに、転入者の地域参加を推進するため、夏祭りや餅つき大会「共助」からさらに一歩進んだ「近助」の意識を育む



町会だよりに掲載されている紙上防災訓練

でなく、他の地域との交流や有事の際の支援も重要な部分だと位置づけ、隣接する自治会で水害リスクの高い町会とは密に交流を図っています。コロナ禍で防災訓練を実施しにくい状況ですが、地域住民の防災意識の啓発につながればと考え、月に1回発行の町会だより「紙上防災訓練」というコーナーを掲載しています。災害対策は日ごろの意識づけが大切です。今後さまざまな手段で意識啓発に努めていきます。

確認を今一度 避難情報の種類

【警戒レベル5】
緊急安全確保
(自治体から)
▶命の危険 直ちに安全確保

警戒レベル4までに
かならず避難

【警戒レベル4】
避難指示
(自治体から)
▶危険な場所から全員避難

【警戒レベル3】
高齢者等避難
(自治体から)
▶危険な場所から高齢者などは避難

【警戒レベル2】
大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁から)
▶自らの避難行動を確認

【警戒レベル1】
早期注意情報
(気象庁から)
▶災害への心構えを高める

Point 1
避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は、警戒レベル3「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

Point 2
警戒レベル4「避難指示」までに危険な場所から全員避難しましょう。

Point 3
警戒レベル5「緊急安全確保」は、安全な避難が難しい状況です。身の安全を確保するための行動を取りましょう。

国民保護実動訓練、入間東部地区合同防災訓練を開催します

国民保護実動訓練を11月に、入間東部地区合同防災訓練を令和5年1月に開催予定です。実施日など、詳しくは決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

備蓄品・非常用持出品の準備を

大規模災害発生時のライフラインの被害による物資の不足や災害の長期化に備え、自宅の備蓄や避難先に持ち出す物品を準備しておきましょう。



警戒レベルに応じて避難できる場所を確認しておきましょう

避難所の把握だけでなく、親戚や知人の家、自宅から出られなくなった際の垂直避難など、さまざまな状況を想定して確認しておきましょう。



富士見市防災ガイドブックを活用してください

本ガイドブックを活用し、事前に普段からの備えやハザードマップを確認しましょう。※本ガイドブックは市ホームページや多言語翻訳アプリ「カタログポケット」でも閲覧できます。



防災情報の入手方法

■市ホームページ

警戒レベル(避難情報)や避難所の情報などを掲載します。



■富士見市防災メール

警戒レベル(避難情報)や避難所開設情報などを配信します。



■富士見市公式SNS

TwitterやLINEで避難所開設情報などを配信します。



■Yahoo! 天気・災害

気象・災害情報、河川水位情報が確認できます。



■Yahoo! 防災速報アプリ

市町村登録により気象情報、避難情報などが通知されます。



■そのほかの防災アプリ

地域設定などにより地域の情報が通知されます。



■埼玉県防災情報メール

気象警報や地震などの防災情報が配信されます。



■防災行政無線電話応答サービス

防災行政無線を聞き逃した場合、電話で放送内容が確認できます。
☎049-265-3030

■テレビで情報入手

リモコンの「dボタン」を押して表示されるデータ放送画面より、情報を入手できます。



■川の情報をライブ配信

砂川堀や新河岸川の最新の状況をインターネットで確認できます。

砂川堀雨水幹線
水位監視システム(埼玉県)



川の防災情報(埼玉県)



作成ポイント

4 マイ・タイムラインに基づいて予行練習を

実際に行動してみると避難経路上などに思いもよらぬ危険があることがあります。作成後は、あらかじめ内容に沿った行動を試してみましょう。

作成ポイント

5 自身の生活状況に合わせた持出品の設定を

飲食物や金銭などの基本的な持出品のほか、自身の生活に欠かせないものを携行可能な範囲で準備してください。

作成ポイント

6 ギリギリではなく、平時に作成しておく

平時から作成し、シミュレーションを十分にしておくことでいざというときに落ち着いて行動することができます。

作成ポイント

7 定期的に内容の確認を

ハザードマップの更新や地域の道路の工事など、避難経路や災害関連情報に変更が生じる場合があります。マイ・タイムライン作成後も定期的に記載内容を確認しましょう。

<p>〇〇 家のマイ・タイムライン</p> <p>家族構成 父 〇〇 太郎 75 母 〇〇 花子 78 本人 〇〇 富士夫 45 妻 〇〇 良子 40 長男 〇〇 春夫 12</p> <p>周囲の状況 ・車2台(富士夫と良子が使用) ・花子が避難する際は支援が必要 ・三芳町に避難できる親戚がいる。</p>					
経過時間	3日前(台風発生)	2日前	1日前	雨・風が時間とともに強くなる	0時間前
行役からの連絡	台風予報 警戒レベル1相当	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2相当	大雨警報 洪水警報 警戒レベル3	警戒レベル4 発令 高齢者等避難	警戒レベル5 発令 緊急安全確保 大雨特別警報
マイ・タイムライン	<p>事前にしておくことリスト</p> <p>■台風が発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品、常用薬 ・防災ガイドブックで避難先と経路を確認 ・排水溝の清掃等 <p>■台風が家の付近を通過すると判明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常にニュースチェック ・三芳町の親戚に連絡 <p>■避難を開始するまでに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話を充電する。 ・避難用の服装に着替える。 		<p>避難するタイミングを記入しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良子の春夫は、三芳町の親戚宅に避難(親戚宅で受け入れられない場合、小学校へ避難) ○〇タクシー(☎●●●●●●●●)を呼び、三芳町の親戚宅に避難する。 <p>■富士夫と良子が不在の場合</p> <p>○〇タクシー(☎●●●●●●●●)を呼び、三芳町の親戚宅に避難する。 </p>	<p>避難先を記入しておこう(複数の場所を想定しておこう)</p> <p>富士夫は、戸締りを実施し、三芳町の親戚宅に車で避難(親戚宅で受け入れられない場合、○〇小学校へ避難)</p> <p>■太郎、花子、春夫が避難していることが判明した場合(帰宅してもいない場合)</p> <p>富士夫と良子は、家族が避難している場所に向かう。</p> <p>■太郎と花子のみ家にいる場合</p> <p>外には避難せず、2階に食料、水をもって避難</p>	<p>逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう</p> <p>新河岸川が氾濫してしまった場合、2階に食料や携帯電話をもって避難</p>
ポイント	<p>持出品の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>非常用持出袋 <input type="checkbox"/>現金(小銭) <input type="checkbox"/>ヘルメット <input type="checkbox"/>レインコート <input type="checkbox"/>モバイルバッテリー <input type="checkbox"/>健康保険証 <input type="checkbox"/>通帳 <input type="checkbox"/>カード <input type="checkbox"/>常用薬 <input type="checkbox"/>印鑑 <input type="checkbox"/>マスク <input type="checkbox"/>消毒液 <input type="checkbox"/>体温計 <input type="checkbox"/>非常食 <input type="checkbox"/>かんぱん <input type="checkbox"/>飲料水 <input type="checkbox"/>タオル <input type="checkbox"/>懐中電灯 <input type="checkbox"/>ラジオ 	<p>事前の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自宅が浸水する深さ最大(3)m ●最寄りの避難所(○〇小学校)までの距離(2,500)mと時間(40)分 ●ペット避難に必要な持出品() <p>・太郎と花子は、雨の中、徒歩で避難所まで避難することは困難。避難する場合は、自家用車若しくは、タクシーを使用する。</p>	<p>【我が家の避難スイッチ】</p> <p>警戒レベル(3)で(三芳町の親戚宅)に避難</p> <p>■親戚宅に行けない場合</p> <p>①○〇小学校 ②家の2階での避難を基本</p>		



マイ・タイムラインは富士見市防災ガイドブックの裏表紙に掲載しています。
※富士見市防災ガイドブックは危機管理課にあります。



[PART2] みんなでつくる「マイ・タイムライン」

災害時の「いつ」「誰が」「何をするか」を整理

マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりの災害発生時の行動計画であり、豪雨などにより河川の水位が危険水位まで上昇することが予想される際に「いつ」「誰が」「何をするか」を書き出し、避難行動の一助とするものです。

自分の居住地の浸水の危険性や安全な場所への距離、移動できる速さは人によって違います。自身の生活環境や家族構成などを踏まえてマイ・タイムラインを作成しておくことで、事前にリスクを把握し、適切なタイミングで避難行動を開始することができますようになります。

作成したマイ・タイムラインは、家族や親戚、避難を支援してくれる方などと共有することでさらなる効果を発揮します。共有しておくことでより良い避難方法を教えてもらえたり、「警戒レベル3で避難してはならない」と気づいてもらえることもありましょう。

出前講座(富士見市協働によるまちづくり講座)でマイ・タイムラインを学びませんか

市民の皆さんが主催する学習会などで、マイ・タイムライン作成のポイントなどをお伝えします。

出前講座に関する問合せ
☎ 協働推進課 ☎049-252-7121